

通所生活介護職員評価表(職員) 集計

多機能型事業所 ごうでいんぐ原田  
 実施時期 2019年3月 次回実施予定時期 2020年3月  
 回収率 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見
環境・ 体制 整備	①	利用定員が作業訓練室等スペースとの 関係で適切であるか	5	2		・もう少し広い方が良い。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1	1	・利用者さんだけになる時がある。 ・スタッフが不足。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー 化の配慮が適切になされているか。	4	1	2	・既存住宅のため多々ある。 ・既存建物の範囲でできることはし ている。
業務・ 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 しているか	6	1		
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向 等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか	6	1		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果 を業務改善につなげているか	7			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の 機会を確保しているか	7			
	⑨	アセスメントを適切に行い、利用者と保護 者のニーズや課題を客観的に分析したう えで、個別支援計画を作成しているか	6	1		
適切な 支援の 提供	⑩	利用者の適応行動の状況を図るために、 標準化されたアセスメントツールを使用し ているか	6	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行って いるか	6	1		
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫 しているか	6	1		
	⑬	課題を決め細やかに設定して支援してい るか	6	1		
	⑭	利用者の状況に応じて、個別活動と集団 活動を適宜組み合わせる個別支援計画 を作成しているか	6	1		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日に行われる支援の内容や役割 分担について確認しているか	6	1		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせ をし、その日行われた支援の振り返り を行い、気付いた点等を共有しているか	4	3		・連絡ノートの活用。 ・不十分

92

17

3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見
適切な支援提供	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		
	⑱ 定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1		
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	1		
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害者福祉相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1		
	㉑ 他事業所、相談事業所等々との情報共有(年間計画・行事予定等の交換等)、連絡調整を適切に行っているか	6	1		
	㉒ 医療的ケアが必要な利用者を受け入れる場合は、利用者の主治医等と連絡体制を整えているか	6	1		
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2		
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を共有しているか	5	2		* 移行支援会議にて引継ぎ
	㉕ 各関係機関や発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3		
	㉖ 地域住民との交流等を通して、たくさんの人たちと活動する機会があるか	3	3	1	・機会を設けるべき。
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	2		
	㉘ 日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2		・面談等で伝えている。
保護者への説明	⑳ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		
	㉑ 保護者からの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2		・サロンの活用。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見
保護者への説明責任	③③ 利用者や保護者からの苦情について体制を整備するとともに、利用者や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	7			
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や保護者に対して発信しているか	7			
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	7			
	③⑥ 利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7			・福祉まつりや感謝祭
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル感染症対応マニュアルを設定し、職員や保護者に周知しているか	7			
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者や保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	6	1		
	④⑫ 食物アレルギーのある利用者について、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		
④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		1	・作成しているが共有しているとは言えない。	
合計		251	45	5	
割合		83.38%	14.95%	1.66%	

### 各項目についての評価及び課題

① ③	訓練室等のスペース、設備等々については、既存の建物では限界があるため、中長期計画として、事業所の一部移転を計画中。(1F61.64㎡～一人当たり8.8㎡、2F17.45㎡～一人当たり2.9㎡*2Fは狭い)
②	法令上(H30年度計算)は支援員は常勤2.0名が必要であるが、当事業所は人員配置加算として2:1の配置を行ったため、5.21人以上の配置とし、常時、5人から7人が配置されている。(H31年度は1.7:1配置を予定)
②⑥	・地域とのかかわりについては、感謝祭のみの行事になっているのが実情であり、今後、真剣に考慮されるべきと思っている。

### 全体としての課題

事業所の取り組み(方向性等)が個々の職員に少しずつではあるが浸透し、取り組みそのものも方針の立案、中間総括、年度まとめ(まとめの会)という流れの中で、継続的かつ系統的に行われるようになってきている。

今後は、今まで蓄積した取り組みをさらに科学的に発展的に向上させるための学習や集団での討議が必要になってくると思われる。

開所から5年という一つの節でまとめ直し、今一度、初心に立ち返り、取り組みの質を向上させていきたい。